

平成27年度  
第7回 神崎中学校区適正配置地域協議会

日時：平成27年5月12日（火）

19:00～

場所：こうざき小学校1階ホール

I 開会のことば

II 出席者自己紹介

III 会長あいさつ

IV 議事

1 大志生木小学校区から

2 目指すべき方向性について

3 その他

V 閉会のことば

### Ⅲ 議事

#### 1 大志生木小学校区から

#### 2 目指すべき方向性について

##### (1) 小中一貫教育について

###### ① 説明

###### ② 意見交換

##### (2) 小規模特認校制度について

###### ① 説明

###### ② 意見交換

#### 3 その他

##### (1) 第8回地域協議会の開催について

6/23(火) 19:00～

○協議：地域協議会としての要望について

神崎中学校区適正配置地域協議会会の協議スケジュール

年度	開催期間	協議事項	配付資料等
26	第1回 7.15(火)	・地域協議会規約(案)について ・地域協議会について	・基本計画(抜粋) ・児童生徒数、学級数の推移
	第2回 8.26(火)	・スケジュール等について ・今後の協議内容について	・神崎中学校区説明会の 質疑の要点整理
	第3回 10.14(火)	・木佐上小学校区から ・小中一貫教育について ・通学の安全性と支援について	・木佐上小学校統廃合につ いて(要望) ・小中一貫教育の概要
	11.13(木)	・賀来小中学校視察(併設型小中一貫教育の取組) ・神崎小学校視察(小規模特認校制度の取組)	・視察関係資料
	第4回 11.25(火)	・視察について ・統合に伴う通学支援について	・視察資料集 ・通学に係る調査結果
	第5回 2.10(火)	・統合に伴う通学支援について ・今後予想される日程(案)について	・木佐上小学校統合に伴う 通学支援について(要望)
	第6回 3.18(木)	・統合に伴う通学支援について ・平成27年度の取組みについて	・木佐上小学校の通学支援 方法について
27	第7回 5.12(火)	・目指すべき方向性について (小中一貫教育、小規模特認校制度について)	・小中一貫教育に係る資料 ・小規模特認校に係る資料
	第8回 6.23(火)	・地域協議会としての要望について	
	第9回 8.4(火)	・協議の取りまとめについて ・報告書(案)について	
	第10回 10.6(火)	・報告書(案)について	

第7回 神崎中学校区適正配置地域協議会

# 資料集

神崎中学校区適正配置地域協議会委員一覧

(敬称略)

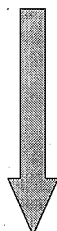
校 区 等	氏 名	役 職 等
木佐上地区	幸野 和夫	木佐上校区自治委員連絡協議会会長
	長田 優二	木佐上地区児童保護者代表
	吉野 宏美	木佐上地区児童保護者代表
	後藤 洋江	木佐上地区児童保護者代表
	小橋 佳子	木佐上地区児童保護者代表
	敷地 由美	木佐上地区未就学児童保護者代表
こうざき小学校	稲生 亨	本神崎校区自治委員連絡協議会会長
	松尾 彰吾	前こうざき小学校PTA会長
	小野 裕治	こうざき小学校PTA会長
	伊藤 康裕	こうざき小学校PTA副会長
	牧野 いづみ	こうざき幼稚園会長
	多田 舞	こうざき幼稚園副会長
大志生木小学校	伊藤 一亀	大志生木校区自治委員連絡協議会会長
	佐藤 正昭	大志生木連合自治会長
	藤澤 治子	佐賀関地区青少年健全育成協議会大志生木地
	江藤 和則	大志生木小学校PTA会長
	渡邊 ルミ子	大志生木小学校PTA代表
	山本 未美	大志生木小学校PTA代表
	渡邊 涼子	大志生木小学校PTA代表
	伊藤 希美	未就学児童保護者代表
	後藤 真帆	未就学児童保護者代表
神崎中学校	若林 淳一	神崎中学校PTA会長
	曾根 聡子	神崎中学校PTA副会長
専門委員	山村 良一	神崎中学校長
	渡辺 文人	こうざき小学校長
	小玉 秀忠	大志生木小学校長
	御手洗 功	学校教育課長
	池辺 誠	学校施設課長
	佐藤 修	教育企画課長

## 1 今後予想される日程について

第5回神崎中学校区適正配置地域協議会(H27.2.10)で提案した資料を一部修正しています。

### (1) 予想される日程

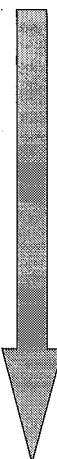
地域協議会における合意形成を行う（26年度～27年度・前期）



- 統合の時期について
- 目指すべき方向性について
  - ・小中一貫教育について
  - ・小規模特認校について
- 統合に伴う通学支援について など

報告書を取りまとめ、教育委員会に提出（27年度・前期）

閉校・統合に係る協議（27年度・前期～後期）



- 閉校に係る協議（大志生木小学校区:実行委員会を組織）
  - ・閉校記念事業の検討・決定
  - ・学校施設の活用に係る協議・・・統合後も継続する可能性
- 統合に係る協議
  - ・通学支援に係る内容（大志生木小学校区保護者と協議）
  - ・統合に関連して調整が必要な内容 など

教育委員会が「神崎中学校区適正配置実施計画」を策定（27年度中）



3小学校の統合完了（28年4月）

統合後の学校のあり方に関する協議（28年度～）

\* 保護者、地域住民の参画を得ながら新たな組織で協議を行う。

- 小中一貫教育について
- 小規模特認校について
- (状況に応じて学校名、校章、校歌などの検討) など

## 第3回地域協議会での確認事項

- ◆木佐上小学校の平成27年度からこうざき小学校へ統合すること。
- ◆平成26年11月13日(木)に賀来小中学校、神崎小学校の視察を行うこと。
- ◆通学の方法と安全性については次回までに木佐上校区と教育委員会、大志生木校区と教育委員会の双方で検討を進めること。
- ◆第4回協議会を11月25日(火)19:00から、こうざき小学校1階ホールで行うこと。

**第3回協議会における主な意見を掲載しています。**  
(発言内容については、紙面の都合で要旨のみとしています。ご了承ください。)

### ○小中一貫教育の説明を受けての意見交換

- 【委員】中1ギャップの解消という話があったが、メンタル的な強さを育てるという事で、ある程度課題を与えて乗り越えさせて教育していくというのが、自分たちのイメージなんだが、ここで言う節目とはどういった事をするのか。
- 【専門委員】節目を乗り越えるというイメージではなく、卒業までの9年間、スパンが長いので中学校では中2で中だるみという言い方をするが、目標を失ったりしやすいので、短いスパン(小4、中1)で節目、節目を置いてそこで一回頑張って成し遂げることによって節目を付けようというものである。
- 【委員】こうざき小に3校統合した時に初めて小中一貫教育を進めるという事か。
- 【事務局】現状、小中一貫教育を取組んでいるが、タイプとしては連携型を進めている。賀来小中学校は併設型として校長が小学校、中学校を兼務している。1人の校長のもと運営しているので一体的な取組が行えるという利点があるという例を話したが、神崎校区を併設型にする、という事を前提としているわけではない。
- 【委員】1年から9年までであるが、教科書は市内の他の小学校、中学校で使用しているものと同じか。
- 【事務局】市内の他の小学校、中学校で使用しているものと同じである。
- 【委員】併設型とするか、しないかという判断はどこがするのか。
- 【事務局】基本的には皆さん方で協議して考え方をまとめていてもらいたいと考えている。
- 【議長】小中一貫教育については、統合後のこうざき小学校がどういった方向性となるのか、選択肢の一つとして説明をしていただいた。
- 【委員】説明されたものはよい事ばかりしかなかったが、デメリットな部分はないのか。
- 【事務局】これがよくないという事を報告されたものはない。ただし、他の学校と比べた時にどうかを職員に聞き取りをしたが、1点目として、先生が忙しくなり負担が重くなるということ。2点目、小1から小4までが小学校の校舎、小5、小6が中学校の校舎で生活しているので、図書館の利用やプールなどの設備の使用時に移動距離が長くなること。3点目として小4が前期のリーダーの役目をする、また中1が中期のリーダーの役目をする。小6のリーダーとしての役目がないので他の学校と比較して若干幼稚化すると言われている。今までリーダー役が小6で1回だったものが、小4、中1の2回の活躍の場となり、マイナスと考えるかは評価の仕方次第と思われる。

### <編集後記>

協議会では、協議会の様子を広くお知らせするため、協議会だよりを発行しています。また、協議の要旨については、市のホームページでも公開しています。今後とも、協議会へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。

### 神崎中学校区適正配置地域協議会だより「第3号」

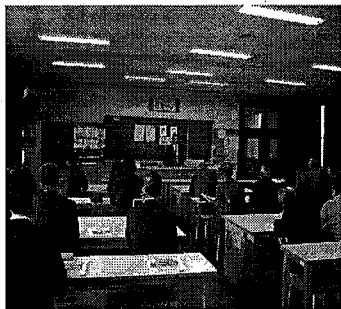
発行:平成26年11月  
発行者:神崎中学校区適正配置地域協議会  
事務局:大分市教育委員会教育企画課  
連絡先:(住所)大分市荷揚町2-31  
(TEL) 097-537-5903(直通)  
(E-mail) kyoikukikaku@city.oita.oita.jp

## 教育視察について

本協議会では、平成26年11月13日(木)に併設型小中一貫教育校である賀来小中学校、小規模特認校である神崎小学校の視察を行いました。

以下では、視察に参加されての感想や意見、視察の様子を掲載しています。

### 賀来小中学校

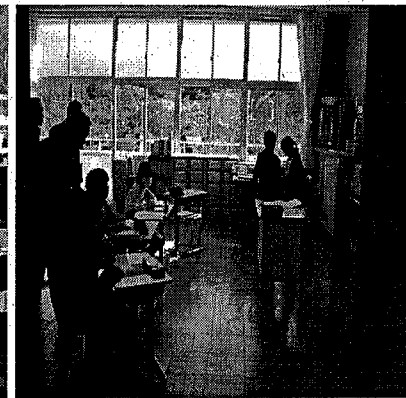
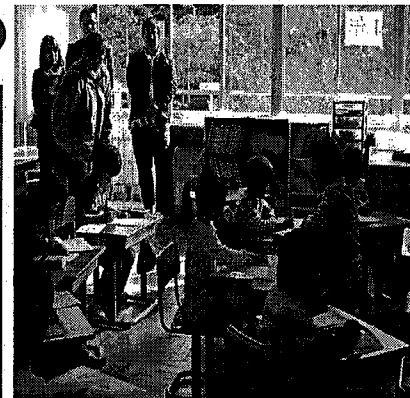


【委員】視察では5、6、7、8、9年の5学年、中期と後期の授業の様子を見させてもらった。小学生5、6年生も中学生と変わらないような雰囲気で大人数で大人びているなど、そんな感じがした。授業では、コの字型に席を並べて子ども同士が互いに向き合って授業を受けており、みんな授業に集中している。互いに意見交換もされていて、すごいなと思った。中学生と一緒に生活する中で、ほとんど溶け込んでやっている姿をみて、これは違うなと感じた。質疑のなかで、宿題は学年で統一したものを出しているとのことで、中学と同じような体制で、先生の横の連携もかなりできていると感じた。

【委員】生徒が非常に明るいと感じた。校長先生からも話を聞いたが、小学生時に勉強が解らなくなると中学に入って面白くない。習熟度別に指導するための教室を設けて子どもの希望と保護者の面談により組み分けしている。教室に戻れば宿題は同じという事で差別感もなく、子どもたちが解るためにやっているとのことで、落ちこぼれというか、そういうことがなかった。

【委員】授業で遅れた方は専門の先生が個別に指導してくれるという事で、かなり素晴らしいイメージを受けたが、生徒数が多いという事で教職員の数も多いのでこのような指導体制がとれるのではと思う。こうざき小学校に置き換えた場合は先生の負担も増えるのではないかとという不安も抱いた。

### 神崎小学校



【委員】校区外から来ている児童が全校の55%を占める。遠くは城原からという事で、大分市内各地から来ている。校区外からの児童の通学方法については、バスや電車で自力で通っているという事で自立した生活を送っている、6年間通学すればすごい生活リズムが出来てくるのかなと感じた。授業でも子どもたちがのびのびやっているし、見ていて非常にさわやかな感銘を受けた。

【委員】地域の方々の協力もかなり頑張っている。小規模特認校を受けるにしてもこうざき小学校をかなり魅力のある学校にしなければならぬと感じた。

【委員】神崎中学校区は地域的には充実した場所にはなるかと思うが、神崎小学校ほどの環境は整っていないと思う。小中一貫教育を充実させた上での小規模特認校であればこうざき小学校も良いところになるのではと思う。



2015.5.12.Tue.

神崎中 山村

★神崎中学校区小中一貫教育の歩み

- ①平成 21 年度 市教委による「小中一貫教育実践研究校」指定
- ②平成 22 年度 小中一貫教育推進校指定
- ③平成 23 年度 小中一貫教育推進モデル校指定 公開研究発表会
- ④24 年度・25 年度も公開研究発表会 次回は 28 年度

★神崎校区小中一貫教育について

①目的

9 年間を見通した「豊かな心」と「確かな学力」の育成

- ・児童・生徒・教職員の人間関係を広げ、広い視野に立った教育活動を進める。
- ・小中相互の理解を深め、各学校段階の役割を再確認し、一貫性のある教育を推進する。

②研究主題

支え合い、高め合って自分の目標に挑戦する児童・生徒の育成

～伝え合う力をはぐくむ話し合いの場を設定した指導法の工夫・改善を通して～

③めざす子ども像（各子ども像は前期・中期＝小 56 中 1・後期ごとに具体化されている）

- ・思いを伝え合うことのできる子
- ・価値観や生き方を認め思いやりのある子
- ・目標や希望をもって生活する子

★各部会（3 校の先生方が 3 つの部に分かれます）の取組

**推進部会**

- ①研究の立案・運営
- ②情報発信→HP、学校通信、パンフレットの自治会回覧等
- ③意識調査（児童生徒、教職員、保護者、地域）

**学力向上部会**

- ①合同授業研修会→各校の指導の様子を参観、発達の段階に応じた「付けるべき力」の整理
  - ②家庭学習の手引き作成
  - ③板書用カード作成・授業 7 原則の指導と定着
- ☆3 校で家庭学習習慣化週間を統一して複数回設ける  
☆夏休み補習の相互乗り入れ

**心身の教育部会**

- ①児童生徒の情報交換
  - ③みそあじの指導と定着
  - ⑤新旧担任者会→中 1 担任と小 6 担任の会
  - ⑥中学生による小学校運動会補助
  - ⑧小中ふれあい交流会→中学校説明会とレクレーション（じゃんけんピラミッド）
  - ⑩小小交流→合同授業・合同行事
- ☆海岸清掃に 3 校児童生徒の縦割り班で取り組む